

# 学校と地域の連携・協働による 「チーム学校」の実現

～教職員や多様な人材の専門性を活用し、  
組織力を高める学校経営～

久喜市立久喜南中学校

塩崎 陽子

# はじめに

## （久喜南中学校の概要）

- ・ 昭和37年（1962年）4月1日  
江面中学校と清久中学校とが統合して開校
- ・ 令和4年度 生徒数186名  
通常学級6学級  
特別支援学級2学級



## はじめに (久喜南中学校の概要)

- ・ 県費負担教職員の配当定員数 18名  
(非常勤や市費等の職員含め 35名)
- ・ 常勤の県費負担教職員のうち教諭 14名の  
平均年齢 34.3歳  
(20代 9名      30代 2名  
40代 2名      50代 1名)

はじめに

(久喜南中学校の学校教育目標 H13～)

学ぶ

主体的・対話的に学び、考えを深める。

鍛える

心身ともに健康で、たくましく行動する。

高めあう

互いを認め合い、仲間とともに成長しあう。



はじめに

(久喜南中学校の目指す生徒像 H29～)

郷土を愛し、夢や希望の実現に努力する  
生徒

- ・ 未来を切り拓く学力を身に付ける生徒
- ・ 社会性を身に付け、温かい人間関係の築ける生徒
- ・ 健康でたくましい心身をつくる生徒

はじめに

(久喜南中学校の目指す学校像 R4～)

一人一人が尊重され、多様性を認め合う  
学校

- ・生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識できる学校
- ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重する学校
- ・家庭・地域・小学校と一体となって教育活動を推進する学校

# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ① 学習指導について

令和4・5年度 久喜市教育委員会研究委嘱

【研究主題】

「久喜市版未来の教室構想」を踏まえた、  
生徒一人一人の可能性を引き出す個別最適な  
学びの実践

# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ① 学習指導について

#### 【研究推進委員会メンバー】

- ・ 研修主任（3年目）
- ・ 研修副主任（10年目）
- ・ 学習支援部会長（11年目）
- ・ 記録・活用部会長（6年目）
- ・ 表現・共有部会長（16年目）
- ・ 教頭（34年目）
- ・ 校長（28年目）



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ② 生徒指導について

生徒指導委員会（兼教育相談委員会）

- ・ 水曜日（S Cの勤務曜日）の第3校時
- ・ 校長、教頭、教務主任、生徒指導主任  
教育相談主任、学年生徒指導・教育相談担当  
養護教諭、さわやか相談員、S C
- ・ 学校としての指導方針の決定と組織的対応

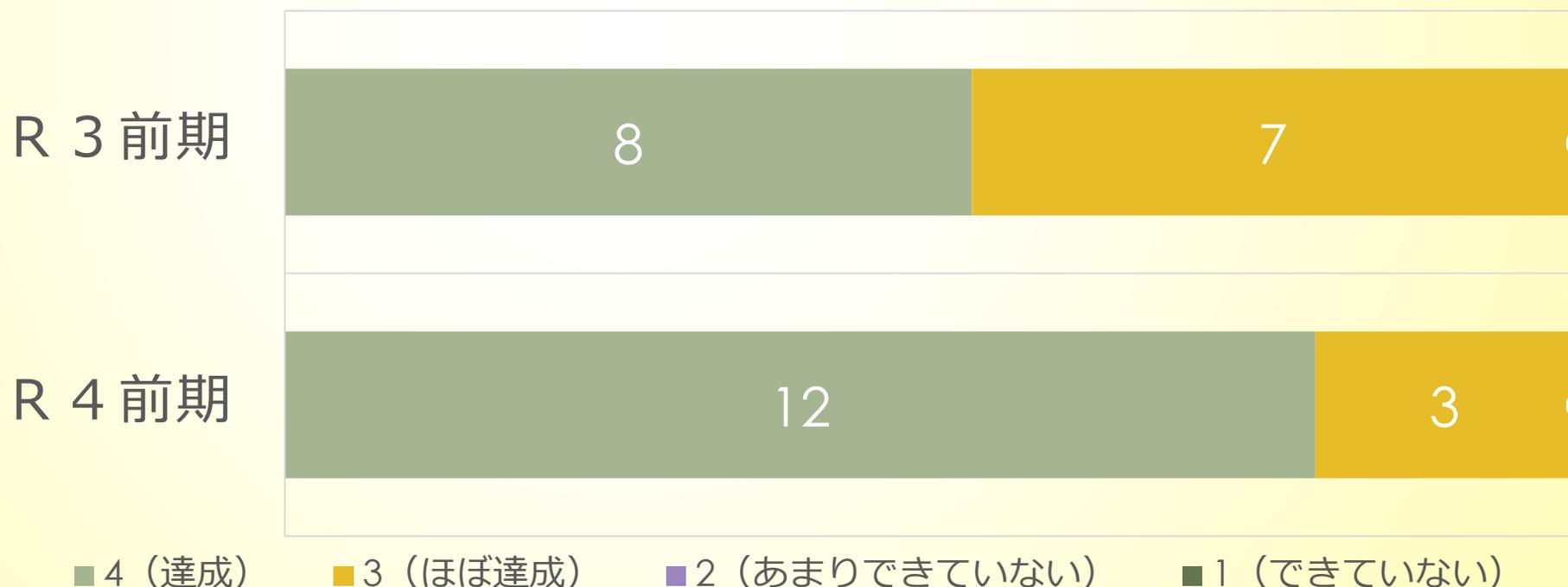
# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ② 生徒指導について

【学校評価から】

指導・相談体制が確立され、教員相互の連携が図られているか。



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ③ 小中一貫教育について

「久喜南わかぎ学園」

(清久小・江面小・久喜南中)

- ・久喜南わかぎ学園校長会 (年8回)
- ・小中一貫教育研修会 (年3回)

教務主任が中心 5部会に分かれて協議

- ・小中合同引渡訓練の実施 安全主任が中心

# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (1) 教員による組織的対応の強化

### ③ 小中一貫教育について（兼務発令）

【清久小 理科】



【江面小 音楽】



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ① 共同学校事務室による専決等

本校事務職員

- ・再任用短時間勤務（1 / 2）2名
- ・県費事務と市費事務で仕事分担

久喜市共同学校事務室（兼務発令）

- ・旅費等の相互確認
- ・室長による各種手当の専決



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ① 共同学校事務室による専決等

## 共同学校事務室地区連絡会議で旅費の相互確認



会議録	
会議名	共同学校事務室地区連絡会議（旅費相互確認）
日時	令和4年7月13日（水） 9:00 久喜小・菖蒲コミセン 14:00 栗橋総合支所・鷲宮西コミセン
議事・内容	
◎ 旅費請求書相互確認（6月分）	
◎ 今後の作業内容確認について	
1 県費事務について	
・ 7/12 高額療養費低所得者区分届（育児休業など）	
・ 7/15 帳票データ配信（給与報告の確認を）	
・ 7/20 旅費請求書提出期限	
・ 7/20 旅費システム入力開始 ～7/29	
・ 7/26 給与システム等入力開始 ～8/4（予定）	
○共同学校事務室（中学校区）で、扶養手当支給要件、児童手当現況届 組合員証等の相互確認の予定を立ててください。	
2 市費事務について（朱書き文書未着）	
・ 7/4 防火安全協会負担金 （PTA予算などで払わず、必ず学校配当予算で支出してください）	
・ 7/11 6月分給食費調定報告書	

# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ② 市費等の職員によるサポート

久喜市教育活動指導員・支援員 2名配置

(1日5時間 175日以内)

さわやか相談員 1名配置

(1日5時間 200日以内)

A L T 1名配置

(1日6.5時間 火・水勤務)



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ② 市費等の職員によるサポート

I C Tサポーター

(ベネッセから月に2回)

スクールサポートスタッフ

(令和3年度配置)

業務員、配膳員等 . . .



仕事に誇りをもって学校を支える

# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ③ 他の事業、専門スタッフ等との連携

#### ア 久喜市中学生学力アップ教育推進事業 「くき本樹塾」

- 1回2時間、年間30回
- 講師3～4名  
内コーディネーター1名  
(市教委から派遣)



# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ③ 他の事業、専門スタッフ等との連携 イ スクールソーシャルワーカー

- 学期に1度、  
各学校を訪問支援
- 不登校生徒の家庭訪問
- 市の関係機関等との連携



広報くき

令和4年12月号より

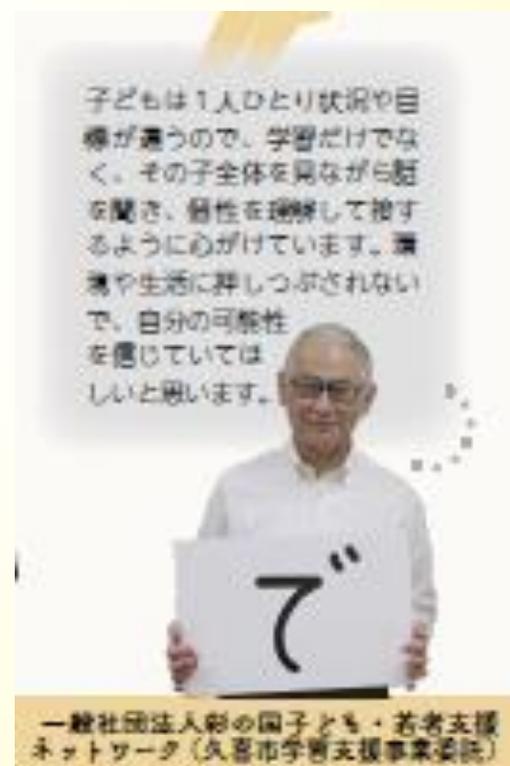
# 1 教職員や多様な人材による組織的対応

## (2) 多様な人材の専門性の活用

### ③ 他の事業、専門スタッフ等との連携

#### ウ アスポート学習支援

- ・久喜市学習支援事業委託
- ・生活保護世帯や生活困窮世帯の生徒の家庭訪問や学習指導
- ・校長が窓口となり連携



広報くき

令和4年12月号より

## 2 地域とともにある学校づくりに向けて (1) 学校運営協議会とともに

平成29年4月1日

学校運営協議会を置く学校（コミュニティ・  
スクール）として指定

令和4年度

年間7回学校運営協議会を実施



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (1) 学校運営協議会とともに

#### ① 各種検定の運営

「久喜南わかぎ学園」の学校運営協議会が  
各種検定を運営

- ・ 小学校で漢字検定  
算数・数学検定
- ・ 中学校で英語検定
- ・ 年に2回ずつ実施



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (1) 学校運営協議会とともに

### ② 地区生徒指導推進委員会の開催

学校運営協議会委員、保護者代表、全教員で  
実施し、校則や制服について検討、見直し



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (1) 学校運営協議会とともに

### ③ 体験活動の充実

学校農園の管理や生徒の農業体験等  
(地元婦人会の方も協力)



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (2) 地域社会との連携の継続

#### ① 外部指導者等による保健体育の授業

#### ア 武道の授業における外部指導者

- 平成24年度から実施
- 久喜剣道連盟から  
外部指導者派遣（12名）
- 令和元年度から  
「日本剣道形」を学習



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (2) 地域社会との連携の継続

#### ① 外部指導者等による保健体育の授業 イ プール授業外部委託事業

- ・令和4年度実施
- ・各学年1回2コマを  
4回ずつ
- ・ティップネス久喜にて  
インストラクターから  
泳力ごとに指導



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて (2) 地域社会との連携の継続 ② 伝統ある環境ボランティア活動

平成5年度からの伝統

地域の方の協力を得て、花壇の花植え等



## 2 地域とともにある学校づくりに向けて

### (2) 地域社会との連携の継続

### ③ 公民館事業との連携・協働

公民館での作品展示



公民館での環境整備



おわりに

「チームとしての学校」を実現するために

専門性に基づくチーム体制の構築

①教職員の指導体制の充実

→研修推進委員会、生徒指導委員会を中心に

②教員以外の専門スタッフの参画

→人材を確保し、連携・分担を明確に

③地域との連携体制の整備

→学校運営協議会を中心に

おわりに

「チームとしての学校」を実現するために

学校のマネジメント機能の強化

①管理職の適材確保

→自分自身が学び続けること

②主幹教諭制度の充実

→管理職候補者を育成すること

③事務体制の強化

→事務職員、共同学校事務室とともに

おわりに

「チームとしての学校」を実現するために

教員一人一人が力を発揮できる環境の整備

①人材育成の推進

→人事評価制度の活用等による人材育成

②業務環境の改善

→学校における働き方改革の推進

③教育委員会等による学校への支援の充実

→市教育委員会への報告や相談を密に

おわりに  
「チームとしての学校」を実現するために



御指導よろしくお願ひいたします